

# 日本がん看護学会

## 【学会活動の3本柱】

1. がん医療・看護の進展や人々のニーズに呼応したがん看護実践・研究の発展
2. がん看護専門職者の生涯教育によるがん看護のレベルアップ
3. がん看護に関する学術的知見の集積と発信

## 1. がん医療・看護の進展や人々のニーズに呼応したがん看護実践・研究の発展

### 1) 地域がん拠点病院を中心とした国内学術集会開催（年一回）

がん患者の心身の苦痛緩和、療養と仕事の継続に必要なセルフケア支援、がん患者の家族支援、がん治療や療養の場の意思決定など、がん患者のクオリティ・オブ・ライフの向上に資する看護研究の発表、意見交換を広く行っている。

### 2) 世界各国のがん看護師が集う国際学術集会の開催（4年に一回）

国際学術集会では、グローバルな視野からわが国のがん看護のレベルが検討されるとともに、がん予防のための禁煙対策など世界的レベルで取り組むべきがん看護の実践・研究の方向性が多面的に意見交換されている。この他、北米がん看護学会メトロミネソタ支部とのパートナーシップにより、国際的な学術交流を継続して行っている。

## 2. がん看護専門職者の生涯教育によるがん看護のレベルアップ

### 1) がん看護専門職者の生涯教育プログラムの開発と提供

① がん看護教育セミナー：がん看護の地域格差をなくすために、学術集会において、がん看護の専門的能力研鑽の機会を会員を問わず門戸を広げて開催している。

② がん看護アドバンスセミナー：学会員を対象に、高度のがん看護専門能力の獲得をめざした生涯教育プログラムの提供を行っている。

### 2) 高度がん看護専門職者の資格認定にかかわる取り組み

① がん看護領域認定看護師の分野特定の推進：医療の高度・複雑化、社会のニーズの高まりに呼応して、日本看護協会の資格認定制度による認定看護師(17看護領域)が誕生している。認

定看護師は6ヶ月間の教育プログラムを経て試験をうけ認定されている。がん看護領域として、**<がん化学療法看護><がん性疼痛看護><ホスピスケア><乳がん看護>**の4つ認定看護師の分野特定の申請を行ってきた。現在までに、**<がん化学療法看護認定看護師 148名><がん性疼痛看護認定看護師 224名><ホスピスケア認定看護師 303名><乳がん看護認定看護師 20名>**の計**695名**が輩出されている。これらの認定看護師は、地域がん拠点病院を中心に、それぞれの専門能力を発揮しながら、がん患者・家族への看護の質向上に貢献している。

②がん看護専門看護師のキャリア継続推進：大学院教育を受けた高度のがん上級実践能力を有する**がん看護専門看護師は現在までに79名**が日本看護協会により認定されており、地域がん拠点病院においてがん対策推進のキーマンとして活躍をしている。がん専門看護師は、本学会の生涯教育プログラム推進の牽引的な役割を果たす一方で、学会活動を通じて自身のキャリア向上の機会を得ている。

### 3) がん看護特別関心活動グループによる専門職者としての自己研鑽

専門職者として自己研鑽を、自律的に継続的に行っていくために、がん看護学会特別関心活動グループを組織している。関心テーマ毎のグループ（がん化学療法看護、がん性疼痛看護、乳がん看護、血液・骨髄幹細胞移植看護、遺伝がん看護など13グループ）では、最新のがん看護に関する情報交換等により切磋琢磨がなされている。

### 4) がん看護の地域格差をなくすためのコアカリキュラムの推進

がん看護に携わるものは誰でもどこでも標準的ながん看護ケアが行えるよう、がん看護コアカリキュラム作成のプロジェクトをすすめている。手はじめに、北米がん看護学会が作成した「がん看護コアカリキュラム」の日本語版を作成し、普及を図るべく準備中である。

## 3. がん看護に関する学術的知見の集積と発信

「日本がん看護学会誌」の年2回刊行

「日本がん看護学会ホームページ」 [http://jscn.umin.jp/index\\_ja.html](http://jscn.umin.jp/index_ja.html)